基本的データ構造と操作: 2

計算機アルゴリズム特論:2015年度 只木進一

探索アルゴリズム Search Algorithms

- ■問題設定
 - ■あるクラスTには、大小関係、等号関係 が定義されている
 - ■リストLには、Tの要素が小さい順に格納 されている
 - ■Tのインスタンスtと等号の成り立つ要素 をLから探す

逐次探索 Sequential Search

- ▶先頭から順に探索する
 - ■リストが長くなると比例して時間がかか る

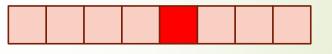
```
T target;
List<T> list;
for(T t:list){
  if (t.compareTo(target)==0){
    return;
  }
}
```

二分探索 Binary Search

ここと比較

対象が前半と後半 のいずれに含まれ るかを判断する。

> リストが長く なると、その 対数で時間が かかる







```
List<T> list;
T target;
while (!list.isEmpty()) {
  int k = list.size() / 2;
   if (list.get(k).compareTo(t) == 0) {
     return true;
  if (list.get(k).compareTo(t) > 0) {
     list = list.subList(0, k);
  } else {
     int kk = list.size();
     list = list.subList(k, kk);
```

整列アルゴリズム Bubble Sort



- ■リストの長さをnとする
- ■一回目の比較はn-1回
- ▶ 二回目の比較はn 2回
- ...

$$\sum_{k=1}^{n-1} k = \frac{n(n-1)}{2}$$

整列アルゴリズム Merge Sort

リストを分離

8 5 2 7 6 3 2 5 8 6 7 3 | 5 | 8 2 | 3 5

- ▶アルゴリズムは
 - ▶正しくなければならない
 - ■効率を考えなければならない
- ■しかし、トリッキーなアルゴリズムは 保守性が下がる
- ▶ライブラリ化の必要性